

**第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会
兼 第20回全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会
ソフトボール競技実施要領（案）**

1 競技規則

令和2年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内及び選手15名以内（男女は問わない。）とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、鹿児島県チームを除くトーナメント方式とする。また、トーナメント戦以外に鹿児島県チームを含めた交流戦を実施する。
- (2) 試合は、5イニング制とし、試合開始後60分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、タイブレーカーにより試合を延長して行う。ただし、延長は2回を限度とし、延長開始後15分を経過した後は、新しいイニングには入らない。それでも同点の場合は、最終出場選手（D P制を採用した場合はF P選手を除く。）9名の抽選によって勝敗を決定する（決勝戦を除く）。
- (4) 3回終了以降10点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。（決勝戦を含む。）
- (5) ファーストピッチにより行う。
- (6) 競技場のフェア地域及び塁間距離と投球距離は、女子の規格に準じる。
- (7) パスボール、振り逃げ、スクイズバント及び盗塁は適用しない。
- (8) ピッチャーが投球したボールが、ホームベースを通過した時点でボールデットとし、キャッチャーからの牽制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
- (9) ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は、審判団から厳重に注意し、再度繰り返す場合は、審判団の判断で遅延行為によりランナーをアウトとする。
- (10) 指名選手（D P）及び再出場（リエントリー）を採用する。
- (11) 試合球は、公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球とし、主催者が用意する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠ユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、コーチは31番と32番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番の番号とする。また、ユニフ

ームの左袖（左肩から10cm程度）に県・指定都市名を表示すること。

- (3) 打者・打者走者・走者，次打者及び1・3塁のベースコーチは，両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また，捕手は，スロートガード付きマスク，捕手用ヘルメット，ボディプロテクター及び膝当て付きレガーズを着用する。
- (4) 金属製スパイクの使用は禁止する。

5 組合せ

組合せは，令和2年2月（予定）に開催するプログラム編成会議において，主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上，決定する。

6 打順表等

- (1) 打順表は，試合開始時刻30分前までに5部作成し，競技会場の競技本部へ提出する。
なお，打順表は監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守の決定は，打順表提出時に審判員立会いの下，球審がコインのトスによって決定する。

7 開始式・表彰式

開始式及び表彰式は，競技会場で行う。

8 その他

- (1) 監督会議は競技開始前に行う。なお，監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 監督会議では，あらかじめ主催者と協議した事項について，大会申し合わせ事項を設けることができる。
- (3) ベンチは，組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (4) ベンチ内へは，監督，コーチ，選手以外は入ることができない。ただし，けが等に対応するため，トレーナー等を帯同するチームは，トレーナー等について1名ベンチに入ることができる。この場合のトレーナー等は，医療知識があり，実際に施術ができる者とする。
- (5) 競技場内へは，主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6) 練習場所については，主催者からの指示に従うものとする。
- (7) 練習球は，各チームが用意する。
- (8) 少雨の場合は決行するが，荒天時他不測の事態が生じた場合等の取扱いは，主催者において別途決定する。